

# カリキュラムとディプロマポリシー(DP)との対応関係チェックリスト

DP		DPの内容
DP1	関係を築く力	1)一人ひとりの人間を総合的に理解することができる。 2)他の人たちと相互に支え合い、成長し合う関係を築くことができる。 3)異なる文化、価値観を持つ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度を持つことができる。 4)さまざまな人との間に支援に向けた関係を深めることができる一人ひとりの人間を総合的に理解することができる。
DP2	擁護する力	1)人間の尊厳と権利を倫理的な視点から擁護する上での課題に気づくことができる。 2)一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守ることができる。
DP3	実践する力	1)看護を受ける人の成長発達や生活の場に応じた看護に必要な知識・技術を用い、実践することができる。 2)看護を受ける人の持つ力を活かして実践することができる。 3)健康レベルに応じた諸課題への対処に必要な知識・技術を用い、実践することができる。 4)看護を受ける人の安全を守るための配慮ができる。 5)自らの行った実践を振り返り、評価することができる。 6)災害等の危機的な状況下での人々の健康問題や支援活動に関心を持つことができる。
DP4	探求する力	1)自らを取り巻く状況で取り組むべき課題を見出すことができる。 2)自らが設定した諸課題の情報を適切に収集し、分析することができる。 3)自らが設定した諸課題の解決に向けて、根拠に基づいて解決策を検討することができる。 4)新たな課題に関心を持ち、解決に向けて主体的に取り組むことができる。
DP5	連携する力	1)変化する保健医療福祉システムにおける看護職及び他の専門職の機能と役割を理解することができる。 2)他の関係職種との情報交換や問題解決にむけた連携に参加することができる。 3)コミュニティのなかで、健康上の諸課題に対応するためにネットワークの一員として参加することができる。
DP6	成長する力	1)専門職として成長し続けるための自己の課題を見出すことができる。 2)国内外の社会変化に関心を持ち、看護専門職として学び続ける態度を持つことができる。 3)専門職を目指す者同士で共に教え学びあい、成長し合う姿勢を持つことができる。
DP7	コミュニティに貢献する力	1)人々の生活の場であるコミュニティに関心を向けることができる。 2)コミュニティにおける健康上の諸課題とその背景を理解することができる。 3)看護の専門性を活かしたコミュニティへの貢献に関心と意欲を持つことができる。
DP8	変化を生み出す力	1)変動する社会や種々の状況下での人々の健康へのニーズに関心を持つことができる。 2)より良い社会の実現に向けて、新たな看護を創り出そうとする姿勢を持つことができる。

◎=密接に対応している, ○=対応している  
(いずれかのDPIに、各マークを一つ対応させたもの)

授業科目		学年配当	必修	選択	自由	単位	DP1 関係を 築く力	DP2 擁護す る力	DP3 実践す る力	DP4 探求す る力	DP5 連携す る力	DP6 成長す る力	DP7 コミュニ ティに貢 献する 力	DP8 変化を 生み出 す力
赤十字	赤十字概論	1前	1			1		◎			○			
	赤十字国際活動論	3前		2		2		◎			○			
	赤十字国際活動論演習	3・4前		1		1		◎			○			
人間	生命倫理	3後	2			2		◎		○				
	哲学と倫理	2後		1		1		◎		○				
	心理学概論	1前		2		2	◎			○				
	臨床心理学	2後		1		1	◎			○				
	教育学概論	2後		2		2	◎					○		
	現代教育論	4前		1		1	◎					○		
	身体運動理論	1後		1		1			○	◎				
	身体運動実技	1前		1		1			○	◎				
社会	社会学概論	1後	2			2	◎			○				
	臨床社会学	2後		1		1		○		◎				
	社会保障論	3前	2			2		◎		○				
	日本国憲法	1後		2		2		◎		○				
	生活環境論	3後	1			1					○		◎	
	障がい論	4前	1			1		◎						○
	保健医療福祉行政論	4前		2		2				○				◎

# カリキュラムとディプロマポリシー(DP)との対応関係チェックリスト

授業科目		学年配当	必修	選択	自由	単位	DP1 関係を築く力	DP2 擁護する力	DP3 実践する力	DP4 探求する力	DP5 連携する力	DP6 成長する力	DP7 コミュニティに貢献する力	DP8 変化を生み出す力
自然と科学	数学	1後		2		2			○	◎				
	生物学	1前		2		2			○	◎				
	化学	1前		2		2			○	◎				
情報	情報学概論	1後		1		1	○			◎				
	情報科学	2後		2		2			○	◎				
	保健統計学	2前	2			2			○	◎				
言葉	日本語の表現	1後		1		1	◎					○		
	英語RW I	1前	1			1	◎					○		
	英語RW II	1後	1			1	◎					○		
	英語RW III	2前		1		1			◎			○		
	英語LS	1前	1			1	◎					○		
	英語文献を読む	2前		1		1			◎			○		
	中国語 I	1前		1		1	◎					○		
	中国語 II	1後		1		1	◎					○		
	韓国語 I	1前		1		1	◎			○				
韓国語 II	1後		1		1	◎			○					
基礎ゼミ	基礎ゼミ I	1前	1			1				○		◎		
	基礎ゼミ II	1後	1			1				○		◎		
健康	人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)	1前	2			2			◎	○				
	人体の構造と機能 II (解剖生理学・生化学②)	1前	2			2			◎	○				
	人体の構造と機能 III (解剖生理学・生化学③および微生物学)	1後	2			2			◎	○				
	疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、疾病論: 消化器、内分泌・代謝)	1後	2			2			◎	○				
	疾病の成り立ちと回復の促進 II (疾病論: 呼吸、循環、腎・泌尿器)	2前	2			2			◎	○				
	疾病の成り立ちと回復の促進 III (疾病論: 運動器、脳・神経、乳腺、感覚器)	2前	2			2			◎	○				
	疾病の成り立ちと回復の促進 IV (疾病論: 血液、アレルギー、リウマチ・膠原病、外科学、産婦人科学、小児科学、検査学)	2後	2			2			◎	○				
	疾病の成り立ちと回復の促進 V (さまざまな治療)	4後	1			1			◎	○				
	疾病の成り立ちと回復の促進 VI (精神医学)	3前	1			1			◎	○				
	薬理学	2後	1			1			◎	○				
	疫学	2後		2		2			○	◎				
	リハビリテーション医学	3前	1			1			○		◎			
	遺伝と遺伝カウンセリング	3後	1			1		○			◎			
	栄養学	3後	1			1			◎	○				
ラボラトリー・プラクティス	2前		1		1			◎	○					

# カリキュラムとディプロマポリシー(DP)との対応関係チェックリスト

授業科目		学年配当	必修	選択	自由	単位	DP1 関係を築く力	DP2 擁護する力	DP3 実践する力	DP4 探求する力	DP5 連携する力	DP6 成長する力	DP7 コミュニティに貢献する力	DP8 変化を生み出す力
看護論	看護学概論Ⅰ	1前	1			1	○	◎						
	看護学概論Ⅱ	4後	1			1						○		◎
	看護関係法規	4前	1			1						◎		○
看護技術論	看護技術論Ⅰ(援助の人間関係)	1前	1			1	◎	○						
	看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)	1後	1			1			◎	○				
	看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)	2前	1			1			◎	○				
	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)	1前	1			1			◎	○				
	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)	1後	1			1			◎	○				
	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)	2前	1			1			◎	○				
看護援助論	看護援助論Ⅰ(看護過程)	2前	2			2			○	◎				
	看護援助論Ⅱ(生命の維持)	2前	1			1			◎	○				
	看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)	1前	1			1			◎	○				
	看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)	1後	1			1			◎	○				
	看護援助論Ⅴ(活動と休息)	1後	1			1			◎	○				
	看護援助論Ⅵ(セクシャリティ)	3後	1			1		◎		○				
	看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)	2前	1			1	○		◎					
コミュニティケア	コミュニティ論Ⅰ	1前	1			1				○			◎	
	コミュニティ論Ⅱ	2前	1			1					○		◎	
	コミュニティ演習	2後	1			1					○		◎	
	コミュニティケアⅠ(地域看護学)	1後	2			2					○		◎	
	コミュニティケアⅡ(多職種連携)	4前	1			1					◎		○	
	コミュニティケアⅢ(在宅看護学)	3前	2			2					○		◎	
	コミュニティケアⅣ(公衆衛生看護活動論)	2後	2			2					○		◎	
健康レベル別看護学	慢性期ケア	2前	2			2			◎	○				
	急性期ケア	2前	2			2			◎	○				
	緩和・終末期ケア	3後	1			1			◎	○				
	健康レベル別看護学演習Ⅰ(急性期・慢性期)	2後	1			1			◎	○				
	健康レベル別看護学演習Ⅱ(精神保健上の問題・発達段階に伴う健康上の課題)	3前	1			1			◎	○				
発達看護学	発達看護学概論	1後	2			2	◎	○						
	発達看護学(成人期の看護)	2前	1			1			◎	○				
	発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)	2後	2			2		◎		○				
	発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)	3前	1			1		◎	○					
	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)	2後	2			2		○	◎					
	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)	3前	1			1				◎	○			
	発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)	2後	2			2		◎			○			
	発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)	3前	1			1			◎				○	

# カリキュラムとディプロマポリシー(DP)との対応関係チェックリスト

授業科目		学年配当	必修	選択	自由	単位	DP1 関係を築く力	DP2 擁護する力	DP3 実践する力	DP4 探求する力	DP5 連携する力	DP6 成長する力	DP7 コミュニティに貢献する力	DP8 変化を生み出す力
精神看護学	精神保健看護学Ⅰ(理論)	2後	2			2	◎		○					
	精神保健看護学Ⅱ(技法)	3前	1			1	○		◎					
多様な状況における看護学	国際看護学(異文化とケア含)	3前	1			1			○		◎			
	国際看護学演習	3後		1		1			○		◎			
	災害看護論	1前	1			1					○			◎
	災害看護活動論Ⅰ	1後		1		1							○	◎
	災害看護活動論Ⅱ	2後		1		1							○	◎
応用看護学	看護管理学	3後	1			1					○			◎
	看護教育学	3後	1			1						◎		○
	応用看護学特論Ⅰ	3・4前		1		1		◎				○		
	応用看護学特論Ⅱ	3・4前		1		1		◎	○					
	交換留学看護研修	3後				3	3			○		◎		
看護学実習	看護援助論実習[レベルⅠ]	1後	2			2	◎		○					
	看護援助論実習[レベルⅡ]	2前	4			4			◎	○				
	精神保健看護学実習[レベルⅢ]	3通	2			2	○		◎					
	発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習[レベルⅢ]	3通	2			2			◎	○				
	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習[レベルⅢ]	3通	2			2			◎	○				
	発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習[レベルⅢ]	3通	2			2	○		◎					
	健康レベル別看護学実習[レベルⅢ]	4前	3			3			◎		○			
	コミュニティケア実習Ⅰ[レベルⅣ](精神保健看護学)	3通	2			2			○				◎	
	コミュニティケア実習Ⅰ[レベルⅣ](母性看護学)	3通	2			2			○				◎	
	コミュニティケア実習Ⅰ[レベルⅣ](小児看護学)	3通	2			2			○				◎	
	コミュニティケア実習Ⅰ[レベルⅣ](老年看護学)	3通	2			2					○		◎	
	コミュニティケア実習Ⅱ[レベルⅣ]	4前	1			1			○				◎	
	看護学総合実習	4後	3			3					○	◎		
研究	研究方法論Ⅰ	3前	1			1			○	◎				
	研究方法論Ⅱ	3後	1			1			○	◎				
	研究Ⅰ	4前	1			1				◎		○		
	研究Ⅱ	4後		1		1				◎		○		
公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動展開論	3前		1		1				○			◎	
	公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		1		1				○			◎	
	公衆衛生看護管理論Ⅱ	4後		1		1							◎	○
	公衆衛生看護方法論Ⅰ	3後		1		1			○				◎	
	公衆衛生看護方法論Ⅱ	3後		1		1			○				◎	
	公衆衛生看護活動論演習Ⅰ	4前		1		1			○				◎	
	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	4前		1		1			○				◎	
	公衆衛生看護学実習	4前		5		5			○				◎	